



水道橋畔発

第29号 令和元年6月

令和

Content

【病院長就任のあいさつ】 患者サービスの本質を理解した
イノベーションでさらなる信頼関係を
東京歯科大学水道橋病院長 片倉 朗

【診療科紹介】 口腔外科紹介（初診および専門外来）

【新技術紹介（デジタルテクノロジー）】 口腔内スキャナー等の導入紹介

【コラム】 「令和」に思う

東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座 教授 佐藤 亨



【病院長就任のあいさつ】

患者サービスの本質を理解した イノベーションでさらなる信頼関係を

東京歯科大学水道橋病院長 片倉 朗

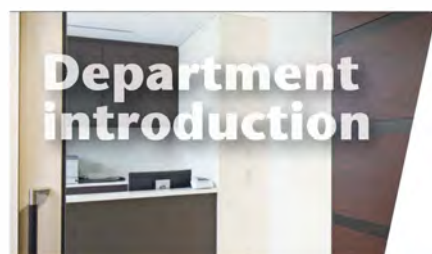
2019年（令和元年）6月より、東京歯科大学水道橋病院の病院長を拝命いたしました。東京歯科大学水道橋病院は、1900年（明治33年）に本学の前身である東京歯科大学医学部に隣接して開設された血脇歯科診療所に端を発します。附属医院を経て1929年（昭和4年）に附属病院、そして1949年（昭和24年）の東京歯科大学の発足に伴って水道橋病院の基盤となっている大学附属病院となりました。令和となった今年は数え年で120年を迎えて、内科と眼科も併設した都市型の歯科大学附属病院へと成長しました。その運営を担う重責をしっかり受け止めて、患者の皆様にはもちろん、連携いただく先生方へも常に安全、良質、高度な歯科医療の提供を担保できる病院であることに努めてまいります。

当院は2017年（平成29年）に改修工事を終えて最新の医療環境と器械を整備した病院となりました。そこに「超高齢社会への対応」、「臨床能力の向上」、「患者中心の医療」を目標として、病院に関わるすべての職種が一丸となり高度で快適な歯科医療を提供する努力を続けてまいりました。その結果、御蔭様で多くの先生方の御紹介と御支援により

多くの患者様に受診して頂ける病院となり今日を迎えています。

しかし、患者数の増加により診療前後の待ち時間の増加、予約の混雑など解決しなければならない問題も生じています。米国の医療品質研究調査機構は優れたヘルスケアを「適切なことを、適切な時に、適切な人に行い、最良の結果を出すこと」と定義しています。患者にとって治療の質と信頼性は切り離せません。今後は「タイムリーに、一貫性を持った、安全で、有効な成果がもたらされる歯科医療を、効率的に提供すること」が患者サービスの本質であることを病院に関わる全ての職種が再認識し、会計待ち時間の短縮をはじめとした患者サービスの改善に取り組んでまいります。

都市型の附属病院を受診される患者さんのニーズは様々でかつ社会環境とともに変化します。提供する歯科医療も日進月歩です。対応するイノベーションを柔軟性をもって続けることで、患者の方、御紹介いただく先生方、連携する医療施設に信頼していただける病院環境の整備に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。御要望がございましたら何なりとお申しつけ下さい。



診療科紹介

口腔外科紹介（初診および専門外来）

スマートフォン、インターネットの普及により患者様も様々な情報を簡単に手に入れられるため、歯科領域でも患者様から最新の専門的治療を求められるようになりました。また、高齢社会が進み歯科治療においても全身管理を必要とする患者様も増えてきています。水道橋病院口腔外科では、各地域から来院しやすいという立地から様々な症例に対する体制を組んでおります。

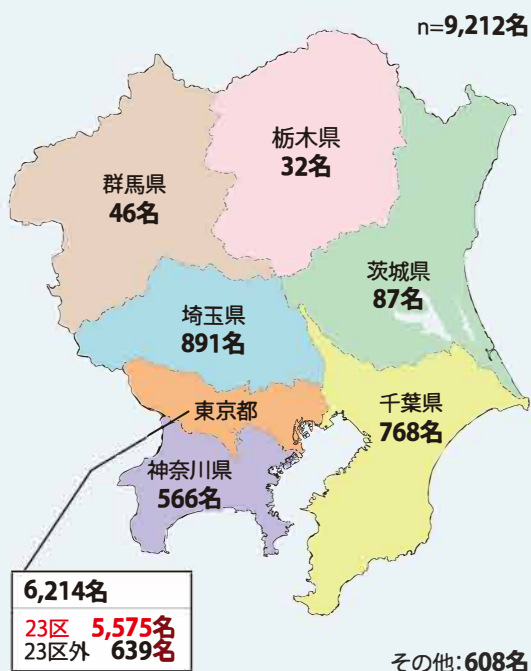
当科の初診患者数は、地域の先生との連携の強化、歯科医師の増員により年々増加傾向にあります（図1）。

【図1】初診患者の推移（平成18年度～平成29年度）

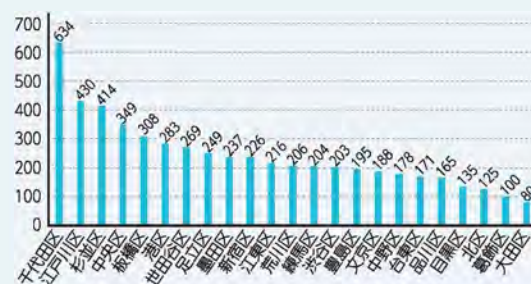


紹介元に関しても 23 区内だけでなく区外、東京都以外からも多くの患者様に来院頂いています（図2.3）。抜歯に関連した処置が多いものの、昨今の報道により口腔粘膜疾患に関連した相談、治療依頼も多くなってきました。

【図2】初診患者の来科地域（平成29年度）



【図3】東京都23区別初診患者数（平成29年度）



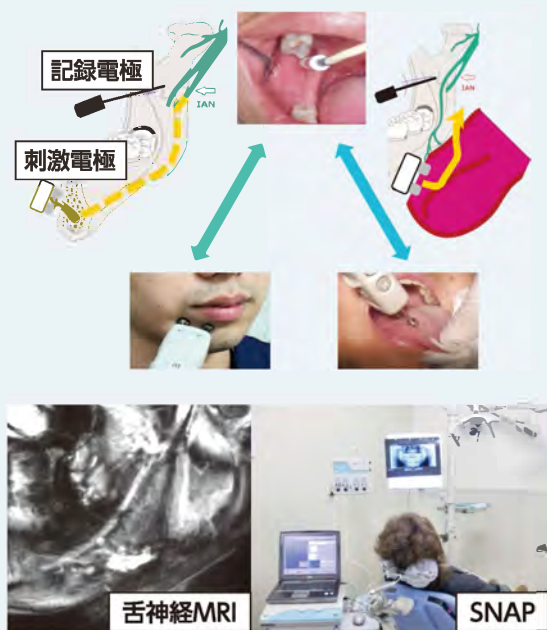
先生方に多くの患者様を御紹介いただいておりますことに感謝申し上げます。一方で、休日・祝日直前の平日および土曜日の来院患者が非常に多く、待ち時間等でご迷惑をお掛けしております。初診の対応について以下のことをご了承おき頂ければと思います。

- ・初診受付は8時50分から11時です。これまで同様に予約なしで御来院頂いても診察致しますが、円滑で丁寧な診察のために指定医がある先生につきましては、なるべく電話での初診の予約をいただくと助かります。
- ・近日中の診察予約が取得できない場合は、指定医に直接相談を頂けると幸いです。
- ・休日・祝日直前の平日および土曜日は来院患者様が多く、予約いただいても待ち時間が長くなる場合があることを患者様にお伝え下さい。
- ・予約の電話については午後にご連絡いただくと幸いです。
- ・緊急の連絡等については常時対応致します。
- ・当院との連携医療機関からの患者様につきましては、夜間、休日でも対応を行っておりますので、よろしくお願い致します。

【専門外来について】

当科では抜歯等による神経障害に対応できるよう神経修復外来を平成 27 年に開設しました。相談や治療も徐々に増えてきており、それらに対応できる評価基準の確立や検査機器の充実化も図っております。現在、神経障害がある患者様についてはこれまで行ってきた触覚テストである S-W テストに加え、直接活動電位を測定する知覚神経活動電位導出法による評価を行っております。さらに舌神経障害に対しては MRI による舌神経の描出によって損傷状態を診断し、最適な治療法の選択をしております（図4）。

【図4】 神経外来におけるSNAP使用症例とMRIでの舌神経描出



口腔癌は、最近の報道もあり患者様の相談が多くなっております。また、それに関連した粘膜疾患の紹介も多くなっています。当院では事前に紹介医の先生方から相談できるツールとしてナビシステムの運用を行っております（図5）。また、当科では非侵襲的なスクリーニング検査として蛍光観察装置による開発も行っており、今後粘膜疾患の早期発見に役立つと考えております（図6）。粘膜疾患は、判断しづらいものが多く普段の臨床において悩むことが多いと思いますので、当科ではあらゆる角度から検査を行うことで早急な対応と治療を行っております。口腔癌の進行症例は、本学市川総合病院にある口腔がんセンターのスタッフと協力して集学的治療を行うこともあります。治療上、患者様が転院となる場合は改めて報告させていただきます。

顎変形症は、当院で年間200例近くの顎矯正手術を行っております。院内の矯正歯科は勿論、院外の矯正歯科等からの紹介患者様についても密に連携し手術を行って

【図5】 当科で行っている口腔がんナビシステム



【図6】 IlmiScan® による口腔がんの蛍光観察



【図7】 Pro Plan CMF® による顎矯正手術シミュレーション

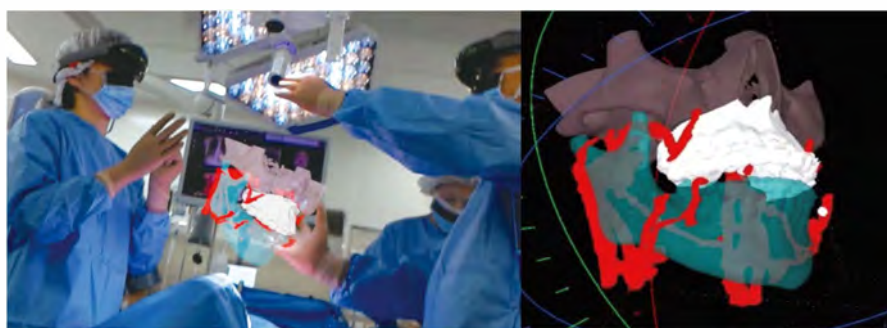
おります。治療方針の共有と連携を図るため、当科では顎顔面領域シミュレーションソフトウェアを導入しております（図7.8）。これにより術前の計画をスムーズに行い矯正歯科と的確なカンファレンスを行えるだけ

でなく、患者様への説明ツールとしても使用してラポール形成に一翼を担っております。

口唇・口蓋裂についても当科で随時対応しております。先天異常であることから全身疾患を併発していることも

多い疾患であるため、本学の市川総合病院の小児科・耳鼻咽喉科をはじめとした各科と連携して対応することがあります。他院での手術症例や、成人の未治療患者様にも対応しますので、御相談がある患者様は当科に御紹介ください。

当科では、先生方に安心して大切な患者様を御紹介いただける体制を整備し、受診いただいた患者様に安全で良質な高度な医療を提供できる医療環境の整備とサービスの向上に努めております。御紹介いただく先生方からの御指摘が今後の口腔外科の発展に繋がると考えております。患者様からの御指摘や相談、先生方からの当科へ御要望がございましたら当院地域医療連携室を通じて何なりと御連絡ください。



【図8】 Windows HoloLens®を使用したMixed Reality Operation



新技術紹介 (デジタルテクノロジー)

口腔内スキャナー等の導入紹介

現在、ご存じのように歯科医療のデジタル化は、急速に進歩・発展しています。特に、修復物の製作にCAD/CAM技法を用いることは、診療の効率化、患者の負担軽減、歯科技工士の作業環境の改善など多くの利点があります。



東京歯科大学水道橋病院では、2016年4月にCAD/CAMシステムを導入しました。口腔内スキャナー (TRIOS®3 3shape Co., Ltd.)、デスクトップスキャナー (D2000 3shape Co., Ltd.) および CAD ソフト (DentalSystem™ 3shape Co., Ltd.) を用いたスキャニングや修復物のデザインについて、学生や医局員に教育しています。また、同時期に CAD/CAM 用高靱性ハイブリッドレジン、ニケイ酸リチウム含有セラミックス (IPSe.max®) およびジルコニアなどを用いた修復物の院内製作も開始いたしました。

今後、口腔内スキャナーを追加導入し、臨床の現場での積極的に活用することで、病院全体のデジタル化を推進していく予定です。



病院長	片倉朗			令和元年6月1日現在
副病院長	山下秀一郎	副病院長	古澤成博	東京歯科大学水道橋病院 診療科担当医のご案内(レギュラースタッフ)
副病院長	鳥山佳則	副病院長	高野正行	

診療科名	職名	氏名	講座名
保存科	部長・教授	古澤成博	歯内療法学
	客員准教授	河野誠之	
	講師	山田雅司	
	助教	佐古亮	
	教授	田宮資己	歯周病学
	教授	齋藤淳	
	講師	勢島典	
	講師	今村健太郎	
	助教	喜田大智	保存修復学
	助教	青木栄人	
	教授	村松敬	
	准教授	杉戸博記	
	医局長・講師	春山亜貴子	保存修復学
	講師	半場秀典	
補綴科	助教	中村圭喜	
	助教	三友啓介	
	教授	上田貴之	老年歯科補綴学
	准教授	石崎憲	
	講師	竜正大	
	講師	高野智史	
	助教	中島純子	クラウンブリッジ補綴学
	助教	(太田緑)	
	助教	和田健	
	教授	堀部耕広	
	教授	佐藤亨	パーシャルデンチャー補綴学
	講師	野本俊太郎	
	助教	四ツ谷護	
	助教	神田雄平	
口腔外科	助教	酒井貴徳	口腔顎顔面外科学
	助教	露木悠	
	助教	川崎貴裕	
	部長・教授	山下秀一郎	
	客員准教授	堀田宏巳	口腔病態外科学
	医局長・講師	田坂彰規	
	助教	大平真理子	
	助教	田中章啓	
	助教	池田一洋	口腔顎顔面外科学
	助教	上窪祐基	
	助教	酒井遼	
	教授	柴原孝彦	
	医局長・講師	高野正行	口腔顎顔面外科学
	講師	山本信治	
口腔外科	講師	渡邊章	
	助教	吉田秀児	
	助教	大野啓介	口腔病態外科学
	助教	加藤宏	
	部長・教授	片倉朗	
	准教授	笠原清弘	
	講師	菅原圭亮	口腔病態外科学
	助教	高木圭	
	助教	西山明宏	
	助教	星野照秀	
歯科麻酔科	部長・教授	一戸達也	歯科麻酔学
	部長代理・准教授	松浦信幸	
	講師	半田俊之	
	医局長・助教	久木留宏和	
矯正歯科	助教	吉田香織	歯科矯正学
	部長・教授	西井康	
	客員教授	末石研二	
	講師	宮崎晴代	
	講師	片田英憲	
	医局長・講師	石井武展	
	講師	立木千恵	
	助教	安村敏彦	
	助教	海老澤朋宏	
	助教	内山沙姫	
小児歯科	部長・教授	新谷誠康	小児歯科学
	医局長・講師	辻野啓一郎	
	講師	櫻井敦朗	
	助教	本間宏美	

診療科名	職名	氏名	講座名
口腔インプラント科	部長・教授	矢島安朝	口腔インプラント学
	客員教授	松浦正朗	
	講師	本間慎也	
	医局長・講師	佐々木穂高	
	助教	守源太郎	
	助教	吉田光孝	
スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	助教	平野友基	口腔健康科学
	助教	小田由香里	
	科長・教授	福田謙一	
	准教授	大多和田美	
	医局長・助教	半沢篤	
	助教	野口智康	
健康スポーツ歯科	科長・教授	武田友孝	口腔健康科学
	医局長・准教授	中島一憲	
	科長代行・教授	片倉朗	
	教授	石田瞭	
摂食嚥下リハビリテーション科	医局長・准教授	大久保真衣	口腔健康科学
	助教	中田悠	
	部長・教授	後藤多津子	
	客員教授	岡野友宏	
放射線科	医局長・講師	音成実佳	歯科放射線学
	助教	小高研人	
	部長・教授	松坂賢一	
	講師	國分克寿	
臨床検査科	助教	中條貴俊	臨床検査病理学
	助教	(中島啓)	
内科	科長・准教授	山岸由幸	内科
	准教授	仁科牧子	
	科長・教授	ビッセン弘子	
	講師	平沢学	
眼科	助教	滝澤菜摘	眼科
	助教	滝澤菜摘	

水道橋病院 診療案内

初診受付	平日・土曜とも8:50～11:00
お問い合わせ時間	平日8:45～18:00 土曜8:45～13:00
休診日	第2土曜・日曜・祝日・ 本学創立記念日(2月12日)・年末年始

【各診療科等ダイヤルインについて】

※患者さまには各科の直通電話番号をお知らせさせていただきますようお願いいたします。

5階	内科	03-5275-1926
4階	口腔外科	03-5275-1725
	歯科麻酔科	03-5275-1851
	放射線科	03-5275-1953
3階	補綴科	03-3262-3425・3426
	口腔インプラント科	03-5275-1760
	小児歯科	03-5275-1723
	矯正歯科	03-5275-1724
	スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	03-5275-1795
	摂食嚥下リハビリテーション科	03-5275-1732
	眼科	03-5275-1856
2階	保存科	03-5275-1721・1722
	健康スポーツ歯科	03-5275-1721・1722
1階	医事課	03-5275-1932
	地域医療連携室	03-5275-1732

「コラム」

「令和」に思う

東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座 教授 佐藤 亨

今年の5月1日に元号が平成から令和になりました。私は、昭和を30余年学生として、そして平成を30年間教員として、それぞれ生きてまいりました。令和をさらに30年間生き永らえる自信はありませんが、令和の時代を見届けたい気持ちもあります。「令和」は万葉集から得たと聞いておりますが、遠く万葉の時代から現在までの長き時空を想いますと、私の生きる昭和・平成・令和は何と短いことかと思わずにいられません。また、万葉集は奈良時代に編纂されましたが、私が日本歯科審美学会の会長を務めていた平成23年に奈良で学術大会を開催したことを懐かしく思い出します。

ところで、本学市川総合病院の横を真間川という小さな川が流れています。真間の手児奈（てこな）という美しい女性の悲話を題材にした山部赤人や高橋虫麻呂の歌が万葉集に掲載されていますが、真間川はそれに由来しています。市川総合病院に研修等で行く際には、予習ももちろん大事ですが、是非、万葉集を紐解き、いにしへの浪漫に思いを馳せてみてください。

翻って、平成はIT化の波が押し寄せた時代でした。通信のネットワークが張り巡らされ、私たちはスマートフォンやパソコンで簡単に多量の情報を瞬時に得ることができます。昭和が情報を集める時代で、平成が集めた膨大な情報を取捨選択する時代であるとするならば、令和はそれをAIが行う時代になりつつあるように思います。AIに情報処理を託した今、私たちは何をすればよいのか、その存在意義（レーゾンデートル、raison d'être）が問われているように思います。恥ずかしながら、私自身、その答えを得ておりません。時代の波に翻弄されることなく、舵を取るのには難しそうです。

私は、平成元年の卒業生（平成会）の学年副主任を務め、また、今は令和最初の卒業生の顧問を務めています。年号の区切りは人生の区切りにもなるようです。平成元年に生まれた私の息子は、今年、令和元年に子供を授かる予定です。平成は「父」として過ごしましたが、令和は「おじいちゃん」として過ごすことになりそうです。私にとっての令和は、孫の成長を見守る時代になりそうです。

LOBBY CONCERT



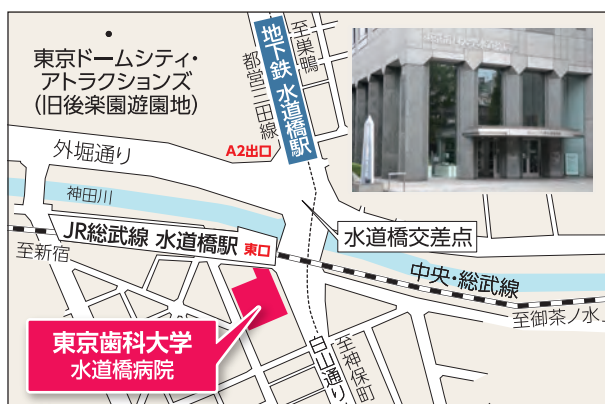
第3回水道橋病院ロビーコンサート

2019年1月19日（土）午後2時30分より、水道橋病院待合ロビーにおいて、第3回水道橋病院ロビーコンサートが開催されました。

呂正博さん（昭和54年卒・soprano&alto sax）、青木聡さん（昭和61年卒・guitar）、荒井美咲さん（平成23年卒・bass）、小田由香里さん（平成23年卒・piano）、御木惇史さん（drums）、で構成されるTDC OB Bandに、内海安希子さん（vocal）をゲストに迎え「Jazz Live」と題し、2部構成で「Sun singer」「愛のためいき」「糸」等の名曲が披露されました。

当日は60名以上の方々が集まり、盛大かつ和やかにコンサートは終了しました。

次回は令和元年7月27日（土）午後2時30分より、水道橋病院待合ロビーにおいて開催いたします。



東京歯科大学 水道橋病院

住 所	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18
電話番号	03-3262-3421 (代表)
ホームページ	http://www.tdc.ac.jp/sh/



東京歯科大学水道橋病院

検索

編集後記

前号でお知らせした通り、編集委員が増員されました。委員は山下秀一郎（地域医療連携専門小委員会委員長）、片田英憲（編集長）、編集委員として山田雅司（保存科）、神田雄平（補綴科）、吉田秀児（口腔外科）、本間宏実（小児歯科）、吉田香織（歯科麻酔科）、平野友基（口腔インプラント科）、日塔慶吉（庶務課）、家永祐子（地域医療連携室）、佐藤新加（地域医療連携室）の11人体制となりました。各診療科から委員を迎えたことで、今まで以上に幅広い分野から、きめ細かい内容をお届けできると思います。

今号より元号が令和に変わり、病院長も片倉教授に変わりました。新しい水道橋畔発の始まりです。

（片田英憲 記）

▶▶▶次回、第30号では

医療連携報告会についてご報告いたします。
開催は令和元年10月2日（水）を予定しています。